

# 関西医療大学 保健医療学部 ヘルスプロモーション整復学科 カリキュラム・マトリクス

本学では、4年間の授業科目全体を「総合教育科目（一般教養を幅広く学ぶ科目）」と「専門教育科目（目指す医療資格を専門的に学ぶ科目）」に分けて、それぞれを「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」に基づいて体系的に配当したカリキュラムのもとで教育を行っています。

また、本学の各学部・学科では、本学が掲げる「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に基づき、学生が卒業するまでの学びの過程で身につけることを求める8つのコンピテンシー（行動特性、能力）を定めています。学生は、1つ1つの授業科目を年次ごとに履修しながら対応するコンピテンシーの修得を積み重ねていきます。そして、社会の中で本学のディプロマ・ポリシーに相応しい人間性と学修成果を身につけた“社会に役立つ道に生きぬく”医療人として活躍することを目指します。

## ヘルスプロモーション整復学科が学生に求める8つのコンピテンシー

① 人間力	幅広い教養と深い感性を身につけて行動することができる
② 倫理に基づく行動力	医療人として高い倫理観に価値を置いて行動することができる
③ 思考力・創造力	積み重ねた知識と技術を基に、自らが考え、新しいものをつくり出すことができる
④ 専門知識・技術	現場において、必要な専門的な知識と技術を駆使できる
⑤ 実践力・対応力	現場において、対象者や状況に応じて行動できる
⑥ 探究力	柔道整復やヘルスプロモーション分野での課題を認識し、探究することができる
⑦ 主体性・責任感	自らの意志・判断によって行動し、責任を持つことができる
⑧ 社会貢献力	持っている知識や技術を社会のために役立てることができる

## 大学・学部・学科のディプロマ・ポリシーとコンピテンシーの対応

大学・学部・学科のディプロマ・ポリシー		学科が求めるコンピテンシー							
		①人間力	②倫理に基づく行動力	③思考力・創造力	④専門知識・技術	⑤実践力・対応力	⑥探究力	⑦主体性・責任感	⑧社会貢献力
大学	1. 医療人として、豊かで深い教養と倫理観を身につけている	●	●						
	2. 保健医療の各分野で求められる専門的な知識をもち、医療技術を実践できる				●	●			
	3. 新たな課題を科学的・論理的に探究して解決できる知性を身につけている			●			●		
	4. チーム医療の一員として、自らの責任と役割を理解して行動できる							●	●
学科	1. 医療人として、幅広い視野から物事をとらえることができる	●	●						
	2. 柔道整復とスポーツ医・科学の基礎的及び専門的な知識と技術を幅広い分野で実践できる				●	●			
	3. 柔道整復とスポーツ医・科学の専門分野において科学的に探究できる			●			●		
	4. 奉仕の精神と専門的な知識と技術をもって社会のヘルスプロモーションに貢献できる							●	●

## ヘルスプロモーション整復学科のカリキュラム配当科目とコンピテンシーの対応

(※対応する上位2つのコンピテンシー番号を記載)

区分	1年次配当科目		2年次配当科目		3年次配当科目		4年次配当科目		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
総合教育科目	①⑥ 大学入門セミナー	①③ 生命のしくみ	①② 日本国憲法(法の基礎知識)	①③ 社会福祉論		①⑤ 医療英語			
	①③ 科学の基礎	①③ 物質と自然のしくみ	①③ 社会学	①⑤ 英語表現法Ⅳ					
	①⑤ 統計学の基礎	①③ 生命の化学	①⑦ 教育学	①⑤ 中国語Ⅱ					
	①⑤ 情報科学Ⅰ	①⑤ 情報科学Ⅱ	①⑤ 英語表現法Ⅲ						
	①② 生命倫理	①⑤ 生涯スポーツⅡ	①⑤ 中国語Ⅰ						
	①③ 心理学	①⑤ 英語表現法Ⅱ							
	①⑤ 生涯スポーツⅠ								
	①③ スポーツと健康								
	①⑤ 国語表現法								
	①⑤ 英語表現法Ⅰ								
	①⑤ コミュニケーション学								
	専門教育科目	③④ 人体の構造Ⅰ	③④ 人体の構造Ⅱ	③④ 病因・病態学Ⅰ	③④ 運動生理学	④⑤ 応用生理学	③④ リハビリテーション論Ⅰ	④⑤ リハビリテーション論Ⅱ	④⑤ リハビリテーション論Ⅱ
		④⑤ 人体の構造演習	④⑤ 人体の構造演習	③④ 内科診断学	③④ 病因・病態学Ⅱ	④⑦ 柔道実技	④⑦ 柔道実技	④⑧ 衛生・公衆衛生学Ⅱ	②⑦ 医療経営学
		③④ 人体の機能Ⅰ	③④ 人体の機能Ⅱ	③④ 外科各論	③④ 内科各論	③⑧ 健康管理学	④⑧ 衛生・公衆衛生学Ⅰ	②④ 療養費と法の基礎	③⑥ スポーツ理学療法特論
②⑦ 医学概論		④⑤ 人体の機能演習	③⑧ 子どもの発達と健康	③④ 外科各論	④⑧ 応急処置実習	③⑦ リスクマネジメント論	②④ 柔道整復関係法規	④⑤ 臨床整復学	
③⑤ 臨床心理学概論		③④ 基礎運動学	④⑤ スポーツトレーニング論Ⅱ	③④ 整形外科学	③④ 食品栄養学	④⑥ 動作分析学	②⑧ 保健医療福祉概論	④⑤ 整復総合演習Ⅱ	
④⑦ アスレティックトレーナー概論		④⑤ スポーツトレーニング論Ⅰ	⑤⑦ 健康運動実習Ⅰ	③⑧ 高齢者ケア論	③④ 健康づくり概論	⑦⑧ キャリア形成セミナー	③⑤ 統合医療(代替医療)	⑥⑦ 柔道整復総合ゼミ	
②⑦ スポーツコーチング論		③④ 整復学総論	⑤⑦ 健康運動実習Ⅱ	④⑤ 整復学実技ⅠB(頭部・胸部・上肢帯)	⑤⑦ フィットネス実習Ⅰ	③⑥ スポーツ社会学	③⑥ 神経科学	⑤⑧ 整復臨床実習Ⅱ	
⑤⑧ トレーナー現場実習Ⅰ		④⑤ 包帯学Ⅰ	③④ 整復学各論Ⅰ(頭部・胸部・上肢帯)	④⑤ 整復学実技ⅡB(脊柱・上肢近位部)	④⑤ 太極拳	③④ 画像診断学	⑤⑦ フィットネス実習Ⅱ		
		④⑤ 整復治療学Ⅰ(テーピング実技)	③④ 整復学各論Ⅱ(脊柱・上肢近位部)	④⑤ 整復治療学Ⅲ(徒手療法応用実技)	③④ 整復学各論Ⅲ(上肢遠位部)	④⑤ 整復学実技ⅢB(上肢遠位部)	③⑥ 健康スポーツ理論		
		②⑦ JSPO-ATの役割	④⑤ 包帯学Ⅱ	④⑥ バイオメカニクス	③④ 整復学各論Ⅳ(骨盤・下肢近位部)	④⑤ 整復学実技Ⅳ(骨盤・下肢近位部)	④⑤ アロマセラピー		
		⑤⑧ トレーナー現場実習Ⅰ	④⑤ 整復学実技ⅠA(頭部・胸部・上肢帯)	④⑤ コンディショニングⅠ	③④ 整復学各論Ⅴ(下肢遠位部)	④⑤ 整復学実技Ⅴ(下肢遠位部)	④⑤ マイオケア(トリガー理論)		
			④⑤ 整復学実技ⅡA(脊柱・上肢近位部)	④⑤ リコンディショニングⅠ	③④ 整復学各論Ⅵ(軟部組織)	④⑤ 整復学実技ⅥB(軟部組織)	④⑤ リフレクソロジー		
			④⑤ 整復治療学Ⅱ(徒手療法基本実技)	③⑤ スポーツ外傷・障害の予防	④⑦ 整復評価学	⑤⑥ 整復治療学Ⅳ(後療法総合)	③⑤ ヨーガ		
			④⑥ トレーニング科学	⑤⑧ トレーナー現場実習Ⅱ	④⑤ 整復学実技ⅢA(上肢遠位部)	⑤⑧ 整復臨床実習Ⅰ	④⑤ 臨床整復学		
			⑤⑧ トレーナー現場実習Ⅱ		④⑤ 整復学実技ⅥA(軟部組織)	⑤⑧ トレーナー現場実習Ⅲ	④⑤ 整復総合演習Ⅰ		
					⑤⑧ 整復臨床実習Ⅰ		⑥⑦ 柔道整復総合ゼミ		
					④⑤ コンディショニングⅡ		⑤⑧ 整復臨床実習Ⅱ		
					④⑤ リコンディショニングⅡ				
					③⑤ 救急対応				
					⑤⑧ トレーナー現場実習Ⅲ				

(2024年度改定カリキュラム対応)